

## 第4回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日 時：令和7年11月19日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：8名

駐在所巡査長	0人	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	0人
事業所職員（職名：管理者、GH主任、小規模リーダー）			3人

### 報告事項

#### 1. 登録実績と利用状況（R7.10月現在）

現在登録者数	9月	10月	新規登録者数	9月	10月
男性	3名	4名	登録 終了者数	1名	2名
女性	17名	17名		9月	10月
計	20名	22名		0名	3名

※最少年齢 76歳 最高年齢 98歳 平均年齢歳 81.9歳（10月）

令和7年度 サービス利用状況：定員25名（令和7年10月現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	21	20	20	21	21	20	22						
延人数	558	594	541	593	597	576	621						
実稼働率	78.4%	76.6%	72.1%	76.5%	77.4%	76.8%	80.1%						
通い/人	282	308	310	343	351	330	385						
泊り/人	62	105	131	147	154	102	130						
訪問/回	315	305	223	246	274	302	309						
支援1	1	1	1	1	0	0	0						
支援2	2	2	2	3	3	3	3						
介護1	5	5	5	5	5	4	4						
介護2	7	7	7	8	7	7	7						
介護3	3	2	2	2	2	2	4						
介護4	2	2	2	2	4	4	4						
介護5	1	1	1	0	0	0	0						

地域別利用状況（令和7年10月現在）

富山	波根	久手	大田	温泉津	久利	静間	五十猛
0人	5人	7人	5人	0人	1人	1人	2人

利用者の世帯状況（令和7年10月現在）

独居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
10人	5人	7人

2. 活動状況報告

①定員超過報告（定員：泊り6人、通い15人）

10/10（金）泊り1人超過、理由：介護者の自宅療養の為

Q：泊りの定員を超えた場合に部屋はあるのか

A：車椅子使用の方は使用が難しいが和室を泊り部屋として確保している。

②行事報告

10/3（金）長寿を祝う会開催

③外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす  
→11/8（土）波根町文化祭の作品出展

- ・国が実施を求める介護給付適正化事業の取り組み：12/17（水）ケアプラン点検実施予定
- ・仁万図書館への外出

【質向上の取り組み】

目標：年間研修計画に応じて実施する

- ・9/10（水）ヘルスアップ事業 お口の健康講座 1名参加
- ・9/12（金）認知症実践リーダー研修 1名参加
- ・9/22（月）～10/20（月）身体拘束廃止研修「不適切なケアについて」全職員
- ・8/25（火）～9/26（金）リスクマネジメント研修 全職員

C. 事業所と地域のかかわり

目標：地域の行事や活動を通じて事業所との関係を深める。その中で相談事やニーズなどを把握する

→久手町の独居で閉じこもりの方に対して社会資源の通いの場に繋げた。介護サービスに頼らず地元の方との交流を続けられることを代表者とも共有した。

Q:独居の方はあんきな利用者なのか。また、地域からの相談があって繋げたのか。

A:あんきな利用者であるが、年が若く通いで交流を図ったがプライドもあり拒否。閉じこもり期間が長くなったことから地域の通いの場へ事業所から相談して繋げた。地域の方からの相談はほぼ無く、運営推進会議内でも2件のみ。

（参加者からの意見）

- ・包括や社協などへの相談が優先されているのではないか。
- ・相談があっても勝手に人様の事に口を出すのを躊躇するケースもあると思われる。

#### **D** 地域に出向いて本人の暮らを支える取り組み

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う

→朝波小学校児童下校時の見守り活動、波根まちセンでのコーラス活動での外出を継続実施している。

#### **E** 運営推進会議を活かした取り組み

目標：運営推進会議の目的や会議の内容が推進委員の方への理解が深まるように、わかりやすい言葉で伝え取り組みを可視化するなど工夫し相談や協力に繋がる意見を増やす

→本日外部評価を実施した。

Q:あんきな家族が出来ない事も対応してくれて有難いが、透析治療の方も受け入れて通院などの対応もされているのか。

A:今年度透析の方の受け入れを行った。病院への移送は事業所では出来ないため、受診後の通い利用で病院まで迎えに上がる対応を行った。現状ではタクシーでの通院は経済的負担が大きく、また、重度化した際に継続できるかが難しいと思われた。

Q:あんきな泊り利用は介護が高い人や医療依存度の高い方は断られることがあるのか。

A:基本的には空きがあれば断ることはないが、夜間帯に看護職員が常駐していないので痰吸引が頻繁にいる方は受け入れが出来ない。また、感染対策上、在宅で新型コロナやインフルエンザに罹患した方の受け入れも不可。

#### **F** 災害協力

目標：災害の規模や種類に応じた災害訓練を計画的に実施する

→日頃からの備えとして2点環境整備を行った。

- ・非常口を色分けして掲示したり、非常口までの動線に蓄光テープを廊下の壁に貼ったりして利用者が自主的に避難できるように工夫した。
- ・垂直避難では利用者が落ち着いて行えるように各フロアに海拔表示を掲示した。
- ・11/19（水）日中避難訓練予定

### 3. その他

## 第5回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日 時：令和8年1月21日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：6名

駐在所巡査長	0人	知見を有する者	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	0人
事業所職員（職名：管理者、GH主任、）			2人

### 報告事項

#### 1. 登録実績と利用状況（R7.12月現在）

現在登録者数	11月	12月	新規登録者数	11月	12月
男性	3名	2名	登録 終了者数	0名	1名
女性	16名	17名		11月	12月
計	19名	19名	1名	1名	

※最少年齢 61歳 最高年齢 98歳 平均年齢歳 85.7歳（12月）

令和7年度 サービス利用状況：定員25名（令和7年12月現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	21	20	20	21	21	20	22	19	19	18			
延人数	558	594	541	593	597	576	621	545	539				
実稼働率	78.4%	76.6%	72.1%	76.5%	77.4%	76.8%	80.1%	72.6%	69.5%				
通い/人	282	308	310	343	351	330	385	322	317				
泊り/人	62	105	131	147	154	102	130	132	137				
訪問/回	315	305	223	246	274	302	309	239	259				
支援1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0			
支援2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3			
介護1	5	5	5	5	5	4	4	3	3	3			
介護2	7	7	7	8	7	7	7	5	6	6			
介護3	3	2	2	2	2	2	4	3	3	3			
介護4	2	2	2	2	4	4	4	5	4	3			
介護5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0			

地域別利用状況（令和7年12月現在）

波根	久手	大田	鳥井	五十猛	静岡	鳥井	温泉津
4人	6人	4人	1人	1人	1人	1人	1人

利用者の世帯状況（令和7年12月現在）

独居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
8人	4人	7人

2. 活動状況報告

①定員超過報告（定員：泊り6人、通い15人）

- ・11/1（土）、11/3（月）泊り1人超過、理由：介護者の都合
- ・12/27（土）12/29（月）泊り1人超過、理由：介護者の都合

②行事報告

12/25（木）、12/26（金）クリスマス会

③外部評価関連報告

**A 事業所評価関連**

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす  
→11/8（土）波根町文化祭の作品出展

- ・国が実施を求める介護給付適正化事業の取り組み：12/17（水）ケアプラン点検実施
- ・仁万図書館への外出

【質向上の取り組み】

目標：年間研修計画に応じて実施する

- ・12/12（金）～12/26（金）全職員対象
- ・手洗いシミュレーション研修（手洗いチェッカーを用いて手洗い手順の適正化を図る）
- ・PPEシミュレーション研修（手指衛生から個人防護具の着用脱衣までの手順）
- ・12/17（水）救急蘇生法 3名参加
- ・12/19（金）ユニ・チャーム腰痛予防のオムツの当て方 2名参加
- ・12/29（月）BCP訓練（自然災害）

**D 地域に出向いて本人の暮らを支える取り組み**

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う

→波根町文化祭行事への参加、朝波小学校児童下校時の見守り活動、久手町通いの場での活動支援を実施。令和8年度を持って朝波小学校が統廃合となり久手へ移る予定である為、次年度以降の見守り活動はニーズがあればと考えている。

（意見）毎月の協議会に参加して現状決定していることは学校名と送迎バスの便数である。「児童クラブがどうあるべきか」「波根文化祭で朝波小の展示などまちセンとの繋がりが無くなることで地域が衰退する」ことへの懸念もある。

→微力ではあるが、事業所としても協力や連携することがあれば会議を通じて相談して頂く

**F 災害協力**※本日外部評価実施。 詳細は地域かかわりシート参照

目標：災害の規模や種類に応じた災害訓練を計画的に実施する

→【火災想定避難訓練】年2回実施：7/16（水）夜間避難想定、11/19（水）日中避難訓練  
今年度はより効果的な避難が行えるように本部との連携を強化することで目標避難時間（15分以内）を達成できた。

- ・内部の職員と連携がスムーズに図るようにインカムを活用。
  - ・ホワイトボードを活用して避難状況を「見える化」し応援者との情報共有。
- 今後は職員の機器操作周知やマニュアルの見直しが課題。

→【BCP（自然災害）訓練】 1月16日実施した。

事業所におけるBCPを実用的なものに更新していくために、机上訓練（マニュアル読み合わせ）にて実環境で計画に沿って動けるかを確認した。

- ・行動基準・参集基準
- ・利用者職員の安否確認・連絡方法
- ・電気ガス水道道路などのインフラ復旧の目安を踏まえ、部署における事前の備え
- ・施設内外の避難場所、避難方法 など

上記の項目において確認し、職員の災害への危機意識や被害想定イメージを深めるとともに不明な点や不備・欠落、事前の取り決めなどについて協議した。

→【地域との協力や連携】

大津自治会、中浜自治会住民の方に対して、法人を避難場所として活用できることの情報発信を行った。今後も地域のニーズなども把握したうえで協力体制を築いていく。

### 3. その他

特になし

次回開催日：令和8年3月18日（水）9:30～10:30



地域別利用状況（令和8年2月現在）

波根	久手	大田	鳥井	五十猛	静間	鳥井	温泉津
3人	6人	5人	1人	1人	1人	1人	1人

利用者の世帯状況（令和7年12月現在）

独居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
9人	4人	5人

2. 活動状況報告

①定員超過報告（定員：泊り6人、通い15人）

なし

②行事報告

1/14（水）、1/15（木）新年会

③外部評価関連報告

**A 事業所評価関連**

【地域包括ケアを担う活動】

本日外部評価実施

【質向上の取り組み】

- ・2/18（水）腰痛予防研修 2名参加
- ・2/18（水）救急蘇生法 2名参加
- ・2/18（水）チーム力向上研修【基礎編】1名参加
- ・2/25（水）認知症コミュニケーション研修 3名参加

3. その他 相談、意見交換

- ・事業所からの相談

認知症のある利用者の方が自宅で散歩へ出掛け、近所宅をジロジロ見たり話しかけたりする為、家族が苦情や謝罪対応で疲弊している。地域との連携協力について協議した。

（波根駐在）

認知症の方は通報されても罪には問われない。パトロールを増やして住民にも疾患の理解と対応をお願いする協力は出来る。

（波根まちセン）

民生委員でも良いが自治会の福祉委員にも相談してみても良いと思う。人権などの研修にも参加しているので理解も得やすい。

- ・今年度で利用者家族2名終了（利用者の退所に伴う終了）。
- ・（大田市職員より）事業所の活動や取り組みなどをスライドや写真を用いての会議であった為、理解しやすかった。また、職員の教育に力を入れているのが良く分かった。

次回開催日：令和8年5月20日（水）9：30～10：30